

授業科目の区分等：専門教育科目 会計学科 実践科目

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
半期	3年	2	選択
担当教員			
横田 昌彦・関口 高弘			
A (会計学科)	S (専門科目)	AC (会計)	309 (上級科目)

授業のねらい (概要)	上場企業・グローバル化した企業の複雑な商取引の実態を企業会計の計算的・論理的側面からの確に捉え、適切に会計情報を伝達・開示する企業会計の果たす役割の重要性を理解し、企業会計を通じた実際の企業活動を計算的・論理的側面から理解した職業的専門家を養成することを目的とする。具体的には、上場企業・グローバル化した企業の複雑な経営活動に関する取引を理解し、主として我が国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準のうち、特論、構造簿記を中心に学修する。
授業計画	<p>第1回 特論編 第4章 固定資産の減損に係る会計基準 固定資産の減損に係る会計基準について短答式試験の過去問を用いながら理解をし、グループにわかれ正誤、理由について話し合う。</p> <p>予習 (時間) : タイトルの項目についてweb視聴をし、予習問題を解き理解しておく (120) 復習 (時間) : 授業中に出された課題の復習をし、完答できるようにする (120)</p> <p>第2回 特論編 第5章 資産除去債務に関する会計基準 資産除去債務に関する会計基準について短答式試験の過去問を用いながら理解をし、グループにわかれ正誤、理由について話し合う。</p> <p>予習 (時間) : タイトルの項目についてweb視聴をし、予習問題を解き理解しておく (120) 復習 (時間) : 授業中に出された課題の復習をし、完答できるようにする (120)</p> <p>第3回 特論編 第6章 研究開発費等に係る会計基準 研究開発費等に係る会計基準について短答式試験の過去問を用いながら理解をし、グループにわかれ正誤、理由について話し合う。</p> <p>予習 (時間) : タイトルの項目についてweb視聴をし、予習問題を解き理解しておく (120) 復習 (時間) : 授業中に出された課題の復習をし、完答できるようにする (120)</p> <p>第4回 特論編 第7章 退職給付に関する会計基準 退職給付に関する会計基準について短答式試験の過去問を用いながら理解をし、グループにわかれ正誤、理由について話し合う。</p> <p>予習 (時間) : タイトルの項目についてweb視聴をし、予習問題を解き理解しておく (120) 復習 (時間) : 授業中に出された課題の復習をし、完答できるようにする (120)</p> <p>第5回 特論編 第8章 税効果会計に係る会計基準 税効果会計に係る会計基準について短答式試験の過去問を用いながら理解をし、グループにわかれ正誤、理由について話し合う。</p> <p>予習 (時間) : タイトルの項目についてweb視聴をし、予習問題を解き理解しておく (120) 復習 (時間) : 授業中に出された課題の復習をし、完答できるようにする (120)</p> <p>第6回 特論編 第9章 ストック・オプション等に関する会計基準 ストック・オプション等に関する会計基準について短答式試験の過去問を用いながら理解をし、グループにわかれ正誤、理由について話し合う。</p> <p>予習 (時間) : タイトルの項目についてweb視聴をし、予習問題を解き理解しておく (120) 復習 (時間) : 授業中に出された課題の復習をし、完答できるようにする (120)</p> <p>第7回 特論編 第10章 会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準 会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準について短答式試験の過去問を用いながら理解をし、グループにわかれ正誤、理由について話し合う。</p> <p>予習 (時間) : タイトルの項目についてweb視聴をし、予習問題を解き理解しておく (120) 復習 (時間) : 授業中に出された課題の復習をし、完答できるようにする (120)</p> <p>第8回 特論編 第11章 1株当たり当期純利益に関する会計基準 1株当たり当期純利益に関する会計基準について短答式試験の過去問を用いながら理解をし、グループにわかれ正誤、理由について話し合う。</p> <p>予習 (時間) : タイトルの項目についてweb視聴をし、予習問題を解き理解しておく (120) 復習 (時間) : 授業中に出された課題の復習をし、完答できるようにする (120)</p> <p>第9回 特論編 第12章 関連当事者の開示に関する会計基準 第13章 賃貸等不動産の時価等の開示に関する会計基準 関連当事者の開示に関する会計基準、賃貸等不動産の時価等の開示に関する会計基準について短答式試験の過去問を用いながら理解をし、グループにわかれ正誤、理由について話し合う。</p> <p>予習 (時間) : タイトルの項目についてweb視聴をし、予習問題を解き理解しておく (120) 復習 (時間) : 授業中に出された課題の復習をし、完答できるようにする (120)</p> <p>第10回 特論編 第14章 セグメント情報等の開示に関する会計基準 セグメント情報等の開示に関する会計基準について短答式試験の過去問を用いながら理解をし、グループにわかれ正誤、理由について話し合う。</p> <p>予習 (時間) : タイトルの項目についてweb視聴をし、予習問題を解き理解しておく (120) 復習 (時間) : 授業中に出された課題の復習をし、完答できるようにする (120)</p>

	<p>第11回 特論編 第15章 四半期財務諸表に関する会計基準 四半期財務諸表に関する会計基準について短答式試験の過去問を用いながら理解をし、グループにわかれ正誤、理由について話し合う。</p> <p>予習（時間）：タイトルの項目についてweb視聴をし、予習問題を解き理解しておく（120） 復習（時間）：授業中に出された課題の復習をし、完答できるようにする（120）</p> <p>第12回 構造編 第1章 キャッシュ・フロー計算書作成基準 キャッシュ・フロー計算書作成基準について短答式試験の過去問を用いながら理解をし、グループにわかれ正誤、理由について話し合う。</p> <p>予習（時間）：タイトルの項目についてweb視聴をし、予習問題を解き理解しておく（120） 復習（時間）：授業中に出された課題の復習をし、完答できるようにする（120）</p> <p>第13回 構造編 第2章 企業結合に関する会計基準 第3章 事業分離等に関する会計基準 企業結合に関する会計基準、事業分離等に関する会計基準について短答式試験の過去問を用いながら理解をし、グループにわかれ正誤、理由について話し合う。</p> <p>予習（時間）：タイトルの項目についてweb視聴をし、予習問題を解き理解しておく（120） 復習（時間）：授業中に出された課題の復習をし、完答できるようにする（120）</p> <p>第14回 構造編 第4章 連結財務諸表に関する会計基準 連結財務諸表に関する会計基準について短答式試験の過去問を用いながら理解をし、グループにわかれ正誤、理由について話し合う。</p> <p>予習（時間）：タイトルの項目についてweb視聴をし、予習問題を解き理解しておく（120） 復習（時間）：授業中に出された課題の復習をし、完答できるようにする（120）</p> <p>第15回 改正論点 収益認識に関する会計基準 収益認識に関する会計基準について短答式試験の過去問を用いながら理解をし、グループにわかれ正誤、理由について話し合う。</p> <p>予習（時間）：タイトルの項目についてweb視聴をし、予習問題を解き理解しておく（120） 復習（時間）：授業中に出された課題の復習をし、完答できるようにする（120）</p>
授業を通して身に付けることができる能力（DP）	<p>DP（商学部）の2項目を意識した科目となっている。</p> <p>1. 情報の収集、分析を行い、進んで課題解決に臨む姿勢 2. 専門的分野の学びを、実務や社会で応用できる能力</p> <p>DP（会計学科）の1項目を意識した科目となっている。</p> <p>1. 会計学の専門的知識を持ち、職業会計人として全うできる能力</p> <p>【身に付くスキル】 論理的思考力・グローバルな視野</p>
到達目標	<p>①我が国の会計基準を理解し、説明することができる。</p> <p>②我が国の会計基準の正誤について判断し、理由を説明することができる。</p> <p>③国際的な会計基準の中で、我が国の会計基準の位置づけを説明することができる。</p>
課題や小テスト等のフィードバックの方法	課題の全体的な注意点などを授業内で解説する。
履修上の注意	<p>次の事項について十分に注意すること。</p> <p>(1) 講義の他、朝7時から予習復習を行う (2) web視聴を前提とした反転講義を行う (3) 欠席の場合には事前に教員に連絡する (4) 欠席（公欠含む）6回で履修放棄とみなす (5) 公認会計士短答式試験と同等の知識を要する</p>
成績評価の方法・基準	<p>学期末に行う「筆記試験」（50%） 授業内外の「課題」（50%）</p>
教科書	経理研究所において利用している「財務諸表論」のテキストを利用する。
参考書・教材	
備考	講義科目／実務家教員による授業
教員との連絡方法	高崎商科大学経理研究所のwebシステムを通じたメール（アドレスは授業内で周知）